

# 第25回

## 福岡県地域年金事業運営調整会議(資料)

---

令和8年3月(書面開催)

博多地域代表年金事務所



日本年金機構

Japan Pension Service

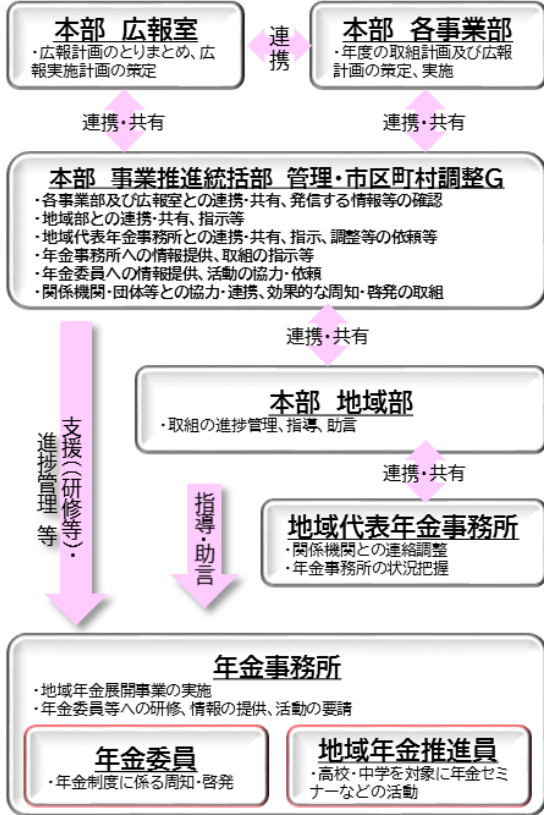
# 目次

1.	地域年金展開事業の概要	2
2.	令和7年度事業実施結果報告（令和7年4月～令和7年12月）	6
3.	令和8年度事業計画（案）	36

# 1. 地域年金展開事業の概要

# 地域年金展開事業の概要

## 日本年金機構



## 事業部の取組

- ・未適用事業所に係る取組
- ・適用に係る調査
- ・納付、免除等に係る取組
- ・年金給付にかかる取組 等

## 地域年金展開事業

～公的年金制度の周知・啓発～

- ①ポスター、チラシ、リーフレット等の配布
- ②年金制度説明会
- ③年金セミナー
- ④出張年金相談会
- ⑤地域年金事業運営調整会議
- ⑥「ねんきん月間」、「年金の日」における各種取組
- ⑦「わたしと年金」エッセイ 等

## 対象

**学生**  
取組:①③⑥⑦

**国民年金被保険者**  
取組:①②③④⑥⑦

**厚生年金保険被保険者**  
取組:①②④⑥⑦

**事業主**  
取組:①②④⑥⑦

**年金受給者**  
取組:①②④⑥⑦

## 地域のネットワーク/協力・連携する機関

### 厚生労働省 ⑤

- ・年金局
- ・職業安定局
- ・保険局
- ・社会・援護局
- ・地方厚生(支)局

### 地域 ⑤

- ・地方自治体(市区町村、県庁)
- ・地域のコミュニティ(自治会・町内会)
- ・地元企業
- ・教育機関(大学・高校・専門学校)
- ・商業施設・商工会

### 関係機関・団体 ⑤

- ・年金受給者協会
- ・社会保険協会
- ・社会保険(年金)委員会
- ・社会保険労務士会
- ・社会福祉協議会
- ・健康保険協会各支部/各健康保険組合

# 地域年金展開事業の主な取り組み

- 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納率の向上等のため、関係機関との連携協力のもと、「年金制度説明会」や「年金セミナー」、「出張年金相談」等を実施します。
- 日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる「地域年金事業運営調整会議」を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

## 地域連携事業

- 職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。
- 市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ、年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配布の依頼等。

## 年金セミナー事業

- 職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。
- 大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設、パンフレットの掲示や設置、配布の依頼等。

## 地域相談事業

- 年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

## 年金委員 活動支援事業

- 年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

## 地域年金事業 運営調整会議

- 公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

余 白

## 2. 令和7年度事業実施結果報告

(令和7年4月～令和7年12月)

# 関係機関等の広報誌等による周知広報

## 市区町村担当者向け情報誌「かけはし」を配布

- 各種取組のスケジュールや制度改正、事務処理上の留意点等について、タイムリーな情報提供を行いました。
- 市区町村担当者からのニーズが高い障害年金に関する窓口業務での注意点等を毎号、「障害年金講座」として掲載しました。

## 広報誌「社会保険ふくおか」への記事掲載

- 主に以下の内容について記事を掲載し、情報提供を行いました。

掲載記事
オンライン事業所年金情報サービスの利用案内
算定基礎届の提出案内、社会保険制度説明会の実施案内
算定基礎届及び賞与支払届の提出案内
わたしと年金エッセイの募集
国民年金保険料追納制度
日本年金機構公式SNSの利用案内
在職老齢年金の見直し

**かけはし** Vol. 98 2026.01

**社会保険ふくおか** 2025 12月号 No.526

**目次**

- 目次
- 理事長の挨拶
- 令和7年度「わたしと年金」エッセイ表彰式
- 年金生活者支援給付金 インターネット広告を開始しています
- 令和7年分の「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」
- 令和7年分公的年金等の源泉徴収票を送付します
- 国民年金保険料の口座振替及びクレジットカード納付の利用
- 国民年金未納保険料納付勧奨通知書（催告状）の発送について
- 令和7年度「国民年金保険料免除・納付猶予申請書」の送付
- 地域型年金委員制度のご案内
- 障害年金講座
- 地域の独自情報
- 編集後記

**社会保険ふくおか** 発行／一般財団法人福岡県社会保険協会

日本年金機構	国民年金の加入・脱退・請求書の提出方法についてのご案内	1
福岡県社会保険協会	国民年金の加入・脱退・請求書の提出方法についてのご案内	2
福岡県社会保険協会	国民年金の加入・脱退・請求書の提出方法についてのご案内	3
福岡県社会保険協会	国民年金の加入・脱退・請求書の提出方法についてのご案内	4
福岡県社会保険協会	国民年金の加入・脱退・請求書の提出方法についてのご案内	5
福岡県社会保険協会	国民年金の加入・脱退・請求書の提出方法についてのご案内	6
福岡県社会保険協会	国民年金の加入・脱退・請求書の提出方法についてのご案内	7
福岡県社会保険協会	国民年金の加入・脱退・請求書の提出方法についてのご案内	8
福岡県社会保険協会	国民年金の加入・脱退・請求書の提出方法についてのご案内	9
福岡県社会保険協会	国民年金の加入・脱退・請求書の提出方法についてのご案内	10
福岡県社会保険協会	国民年金の加入・脱退・請求書の提出方法についてのご案内	11

**劇四季** ミュージカル「オペラ座の怪人」特別予約のご案内

キャナルシティ劇場で21年ぶりに期間限定上演中のミュージカル「オペラ座の怪人」。現在、会員向け特別予約を受付中。詳細は社会保険協会ホームページの会員専用ページをご確認ください(申込みは希望公演2週間前まで/空席ある限り)。

皆さんで回覧してください。

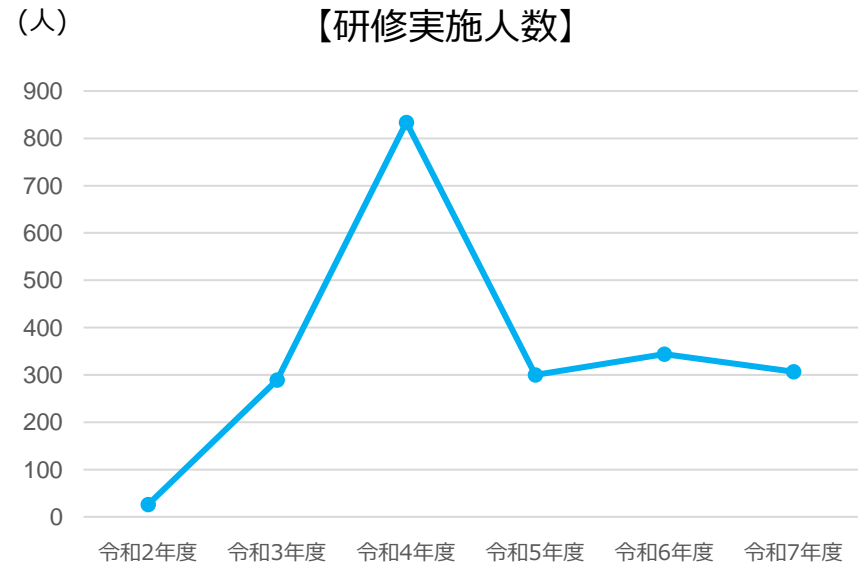
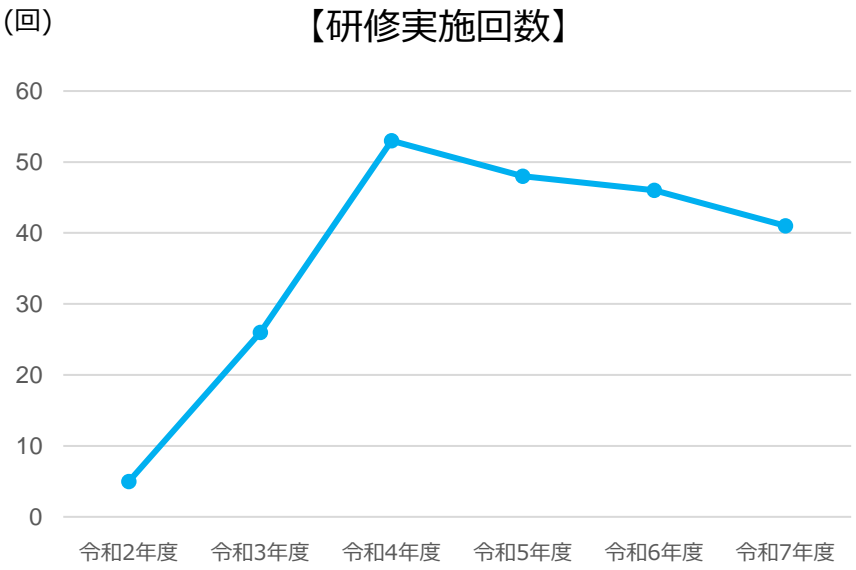
# 市区町村担当者への研修

市区町村の窓口においてお客様対応を正確かつ円滑に行うためには、市区町村職員の知識の向上が重要です。知識確保の機会として国民年金事務担当者向け研修を実施しています。主に以下の内容について研修を実施しました。

なお、令和7年度から、研修項目として、「オンラインサービスの利用促進」、「事務処理誤り防止」が追加されています。

研修項目
国民年金事務の実施における、より詳細な知識や実務に即した事務取扱の習得を目的とした研修
制度別研修(事例に基づいた応用的な研修、障害年金研修等)
制度改正等に伴う事務取扱の留意点
オンラインサービスの利用促進
事務処理誤り防止
可搬型照会用窓口装置の活用及び操作等の習得に係る研修

- 「実施回数」、「実施人数」ともに、年度末には令和6年度より増となる見込です。



※令和7年度は12月末までの実績です。

# 国税局との連携

## 確定申告会場におけるマイナポータル連携

福岡国税局および福岡県内税務署と連携し、確定申告会場（令和8年2月16日～3月16日）等でねんきんネットの利用者登録等、利用促進にかかる取組を行う予定です。昨年度は試行実施（10会場、連携日数は数日）でしたが、税務署からは「昨年度の連携（源泉徴収票を忘れた方への添付書類再交付（電子版DL）等）について非常に助かり感謝しており、今年度もぜひご協力願いたい」と感謝の言葉をいただきました。

今年度は会場数を拡大（13会場）し、連携日数についても増やす予定です。

【ねんきんネットリーフレット】



確定申告会場	確定申告会場住所	年金事務所
AIM（アジア太平洋インポートマート）ビル	北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号AIMビル3階	小倉北
西鉄ホール	福岡市中央区天神2丁目11番3号ソラリアステージビル6階	博多、南福岡
若松税務署	北九州市若松区本町1-14-12 若松港湾合同庁舎	八幡
八幡税務署	北九州市八幡東区平野2丁目13番1号	八幡
香椎税務署	福岡市東区千早6丁目2番1号	東福岡
福岡タワー	福岡市早良区百道浜2丁目3番26号 福岡タワーホール	西福岡、中福岡
イオンモール大牟田	大牟田市岬町3番4	大牟田
久留米税務署	久留米市諏訪野町2401の10	久留米
直方税務署	直方市殿町9番10号	直方
飯塚税務署	飯塚市芳雄町13番6号 飯塚合同庁舎	直方
田川税務署	田川市新町11番55号	直方
八女伝統工芸館	八女市本町2-123-2	久留米
行橋税務署	行橋市門樋町1番1号	小倉南

# 協会けんぽとの連携

## 連絡会議の開催

社会保険事業の適正かつ円滑な事業運営を図るため、社会保険事業連絡調整会議（幹部会、幹事会）を開催しました。

会議名	開催日	主な議題	参加者
幹部会	令和7年7月25日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>表彰式について</li> <li>相互研修の開催について</li> <li>地域年金展開事業の取組について</li> <li>被扶養者資格再確認業務の実施について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡県内年金事務所長、地域調整課長</li> <li>全国健康保険協会福岡支部 支部長、企画総務部長、業務部長、企画総務グループ長</li> </ul>
幹事会	令和7年11月26日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>被扶養者資格再確認について</li> <li>75歳到達者の資格喪失処理について</li> <li>遡及手続きによる返納金について 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡市内適用担当課長 福岡広域事務センター 厚年グループ長</li> <li>全国健康保険協会福岡支部 企画総務グループ長、保健グループ長（ほか）</li> </ul>

## 研修の開催

社会保険事業の中で年金関係業務（日本年金機構における業務）と健康保険関係業務（全国健康保険協会における業務）は、緊密な連携のうえに成り立っており、双方の業務内容を理解することは重要です。相互理解を深めるため、それぞれの業務内容について研修を実施しています。今年度の研修は、以下の日程で実施予定です。

開催日	研修担当	テーマ
令和8年2月24日（火） （予定）	全国健康保険協会福岡支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>協会けんぽについて</li> <li>マイナ保険証、資格確認書について</li> <li>日本年金機構の事務処理と全国健康保険協会の業務の関係</li> <li>保険者間調整</li> </ul>
令和8年3月5日（木） （予定）	日本年金機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本年金機構、公的年金制度の概要について</li> <li>各事業（適用、徴収、年金給付）について</li> <li>事務センターの事務処理の流れについて</li> </ul>

# 九州厚生局との連携

## 連絡会議の開催

九州厚生局と日本年金機構が協力連携体制を確立することにより、各種公的年金事業を円滑かつ効率的に行うことを目的として、連絡会議を実施しました。

開催日	主な議題	参加者
令和7年6月5日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>認可申請について</li> <li>学生納付特例法人について</li> <li>オンラインサービスの利用促進について</li> <li>外国人の適用・収納対策について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州厚生局 総務管理官、年金指導課長、年金調整課長、年金審査課長、統括社会保険審査官、年金調整課課長補佐</li> <li>博多九州地域代表年金事務所 所長、副所長、地域調整課長、地域調整課長代理</li> </ul>
令和8年2月9日（月） （予定）	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民年金保険料の外国人収納対策について</li> <li>訂正請求について</li> <li>地域年金展開事業について</li> <li>個人向けオンラインサービスの利用促進について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州厚生局 総務管理官、年金指導課長、年金調整課長、年金審査課長、統括社会保険審査官、年金調整課課長補佐</li> <li>博多九州地域代表年金事務所 所長、副所長、地域調整課長、地域調整課長代理</li> <li>福岡広域事務センター 厚生年金適用第1グループ長</li> </ul>

## 研修の開催

九州厚生局と日本年金機構の業務の連携強化を図ることを目的として、相互研修を開催しました。  
令和7年11月20日（木）開催の研修において、九州厚生局職員の方に実際にねんきんネットを操作してもらい、理解を深めてもらいました。

開催日	研修担当	テーマ
令和7年7月10日（木） 令和7年7月17日（木）	九州厚生局	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金記録訂正請求事務について</li> <li>審査請求について</li> <li>年金調整課の業務概要と交付金業務について（国民年金等事務費交付金等・年金委員）</li> <li>認可申請について</li> </ul>
令和7年11月20日（木）	日本年金機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本年金機構の概要</li> <li>年金制度全般（厚年適用、厚年徴収、国民年金、年金給付）</li> <li>ねんきんネット（オンラインサービス）</li> </ul>

# 福岡県社会保険協会との連携

## 制度説明会の開催

令和7年11月19日（水）TKPガーデンシティPREMIUM天神スカイホールにおいて「令和7年度年金制度説明会」（福岡県社会保険協会共催）を開催しました。

現行制度のしくみ、今般の年金制度改正の議論や、実際の事業所調査で指摘の多い事例を踏まえた改善のポイントなど有用な最新情報を盛り込んだ説明会に、福岡県下の事業所・年金委員約400名の方々が参加されました。

### 【制度説明会のご案内】

### 【制度説明会の様子】

日本年金機構と社会保険協会が共同開催する説明会です。

**令和7年度  
年金制度説明会のご案内** **参加費  
無料**

開催日時：令和7年11月19日(水)  
受付開始：13時00分  
開演：13時30分（16時30分終了予定）

場 所：TKPガーデンシティPREMIUM天神スカイホール  
（福岡県福岡市中央区天神1-4-1西日本新聞会館16階）

令和7年年金制度改正の意義や、実際の事業所調査で指摘の多い事例を踏まえた改善のポイントなど、実際のプロフェッショナルが最新情報について分かりやすくお伝えします！ぜひ、ご参加ください。


説明会の概要

1. 特別講演  
『年金制度改正等について』  
～現行制度のしくみと考え方、令和7年年金制度改正の意義を解説します～  
講師：高橋俊之 日本総会研究所特任研究員  
（元厚生労働省年金局長）（社会保険研究所）
2. 厚生年金保険（適用関係）の改正と実務（仮題）  
～令和7年年金制度改正を踏まえた厚生年金適用実務の要点を解説します～  
講師：日本年金機構厚生年金保険部 厚生年金保険適用・調査グループ
3. 調査指摘・改善指導事例の解説（令和7年度版）  
～被保険者の資格や報酬の届出で誤りやすい事例を解説します～  
講師：日本年金機構特別法人対策部 法人調査グループ

日本年金機構特別法人対策部の最新情報をお届けいたします！

申込方法：福岡県社会保険協会ホームページトップページの入力フォームから申込ください。  
※申込入力後、入力フォームを印刷して当日会場にて持参ください。  
申込開始日：令和7年10月14日(火)10:00  
※申込多数の場合は、先着順にて締め切りますので、ご了承ください。  
※ご不明な点がございましたら、福岡県社会保険協会ホームページにてご確認ください。

日本年金機構 博多年金事務所・一般財団法人 福岡県社会保険協会  
（福岡県代官年金事務所）




# 外国人対策

増え続ける外国人の適用・収納対策を策定するため、関係機関との協力連携体制構築は必要不可欠です。福岡県では、以下のとおり取り組んでいます。

## 公益財団法人 北九州国際交流協会

日時	取組内容
令和7年6月5日（木）	訪問し、外国人に年金制度を周知広報する上での協力要請（Facebook等）
令和7年8月8日（金）	訪問し、Facebookを活用した制度周知依頼→Facebookに制度周知広報掲載
令和8年2月14日（土） （予定）	外国人向け年金相談会開催予定

## 公益財団法人 福岡よかとピア国際交流財団

日時	取組内容
令和7年6月26日（木）	訪問し、外国人に年金制度を周知広報する上での協力要請（Facebook等）
令和7年10月3日（金）	訪問し、Facebookを活用した制度周知依頼→Facebookに制度周知広報掲載

【Facebook掲載記事】



【年金相談会のお知らせ】



# 外国人対策

## 福岡出入国在留管理局

日時	取組内容
令和7年6月6日（金）	福岡出入国在留管理局による機構職員向けテレビ研修開催
令和7年6月26日（木）	機構職員による福岡出入国在留管理局向け研修開催
令和7年8月8日（金）	福岡出入国在留管理局による機構職員向けテレビ研修「やさしい日本語研修」開催

【やさしい日本語研修資料】



## 福岡県専修学校各種学校協会

日時	取組内容
令和7年9月18日（水）	訪問し、令和7年10月15日（水）開催の福岡県専修学校各種学校協会研修会での制度周知依頼

福岡県専修学校各種学校協会研修会については、今年度はリーフレット配布による周知でしたが、令和8年度は研修会会場にて対面で制度周知を行う予定です。

## 公益財団法人 福岡県国際交流センター

日時	取組内容
令和7年12月19日（金）	訪問し、外国人に年金制度を周知広報する上での協力要請

公益財団法人 福岡県国際交流センターとは今後連携を進め、イベント参加、SNSを活用した周知広報、相談窓口設置等について検討を進めていく予定です。

# 企業等における年金制度説明会

企業や団体等に対する年金制度・事務手続き説明会を通じて電子申請やねんきんネット、制度改正事項等について周知・広報し、オンラインサービスの利用促進、事務手続きの適正化を図りました。説明会のテーマは以下のとおりです。

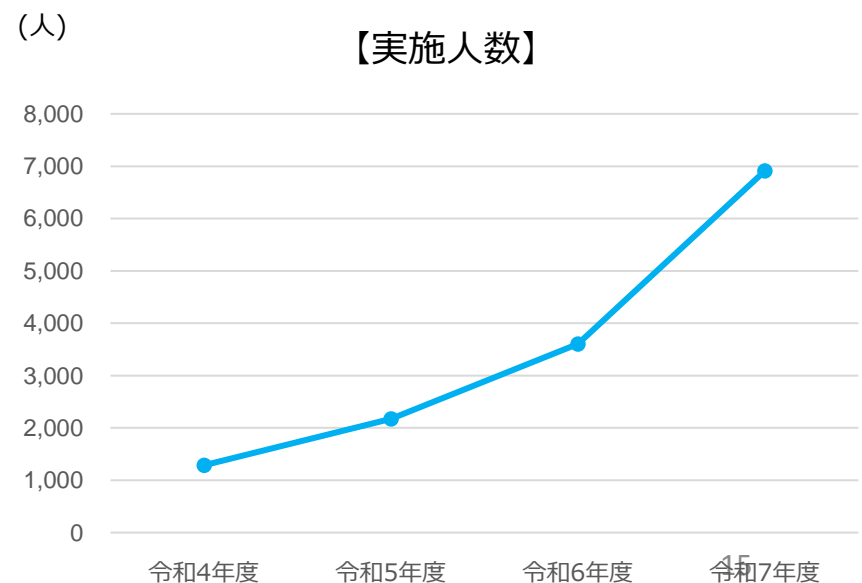
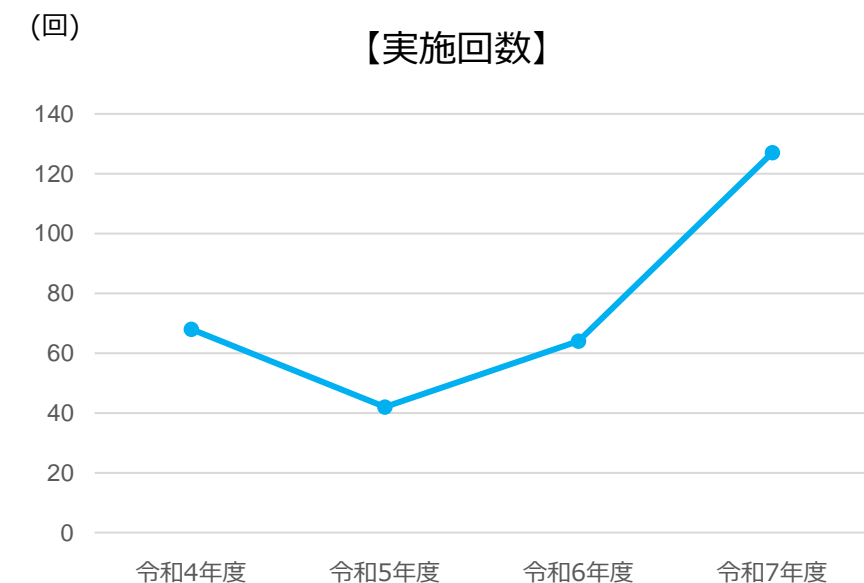
説明会テーマ
自治体・社会福祉協議会等と連携した免除手続き等に関するもの
事業所調査における指摘事項の多い事例に関するもの
短時間労働者適用拡大に関するもの
育児休業に係る保険料免除等に関するもの
算定基礎届事務に関するもの
年金受給に関するもの
外国人、外国人を雇用する企業及び支援団体等を対象としたもの
オンラインサービスに関するもの

- 説明会では複数のテーマを説明します。令和7年12月末時点の総テーマ数は306です。
- 今年度は外国人対策、オンラインサービスを重点取組事項としております。
- テーマ「外国人、外国人を雇用する企業及び支援団体等を対象としたもの」は41回説明しています。これは、総数306に対し、13.39%です。以下に、珍しい開催事例をお示しします。
- テーマ「オンラインサービスに関するもの」は99回説明しています。これは、総数306に対し、32.35%です。
- 実施回数、実施人数共に令和7年12月時点で、昨年度実績を上回っています。

開催日	年金事務所	対象	参加人数	備考
令和7年6月15日（日）	博多	公益財団法人福岡県国際交流センター説明会に参加した外国人	38名	福岡市に新規に入学してきた外国人向け説明会
令和7年6月26日（木）	西福岡	福岡出入国在留管理局	25名	

## 年金制度説明会 実施回数及び実施人数

- 「実施回数」、「実施人数」とともに、年度末には令和6年度より増となる見込です。

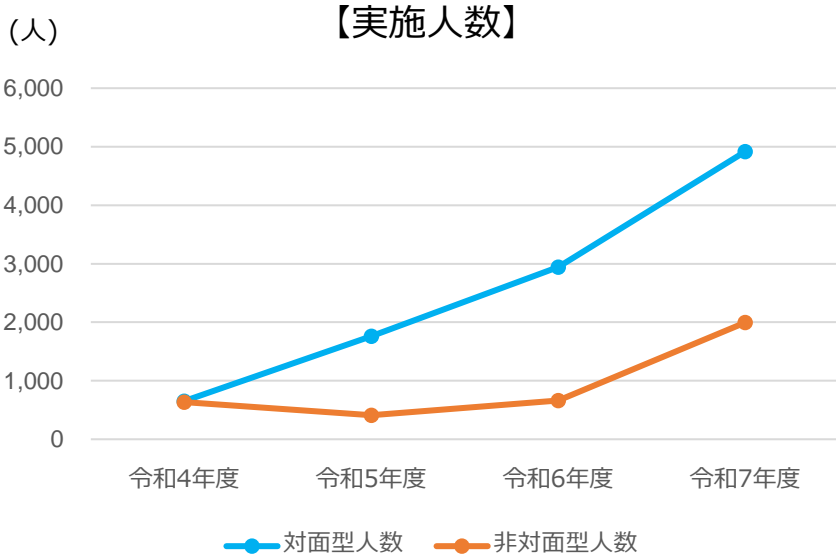
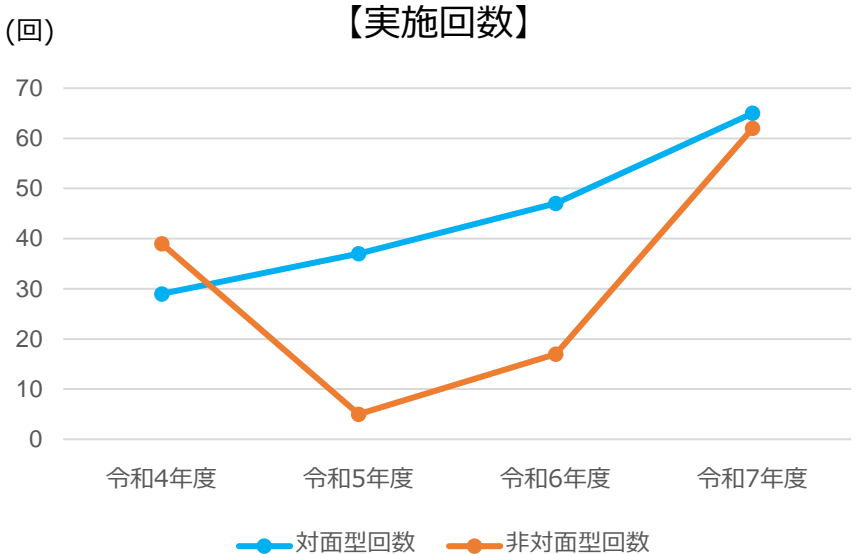


※令和7年度は12月末までの実績です。

# 企業等における年金制度説明会

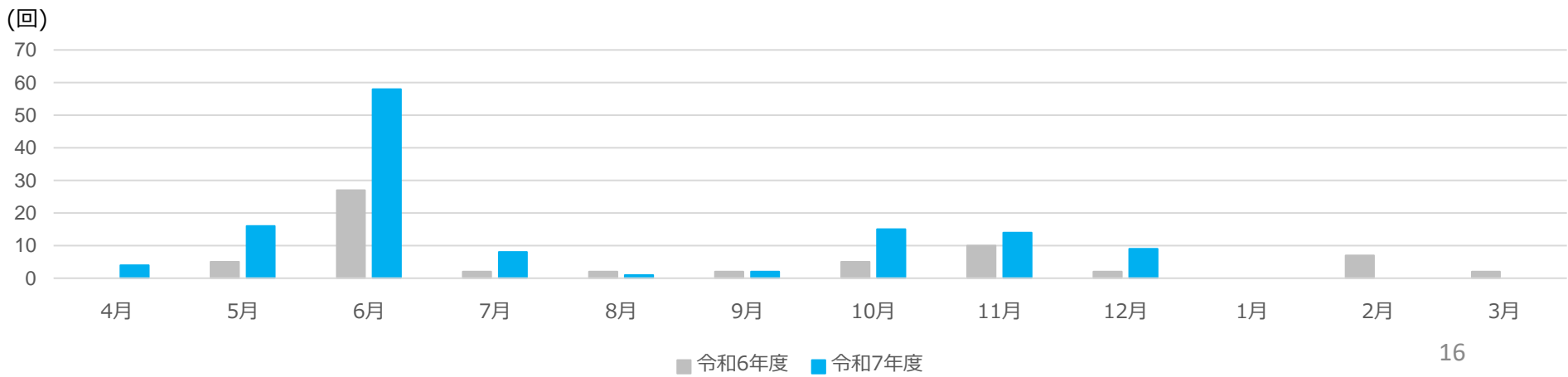
## 年金制度説明会 対面型・非対面型の比較

・ 「非対面型」の実施回数の伸び幅が、「対面型」に比較して大きいことが分かります。



## 年金制度説明会 月別実施回数の比較

・ 算定基礎届説明会が集中する6月が実施回数が多いことが分かります。



# 年金セミナー開催拡大に向けた取組

より多くの方に年金制度を周知するため、高等学校長OBである地域年金推進員（4名）と連携し、以下の通り重点的に取組を進めました。

時期	取組内容
令和7年5月23日（金）	福岡県教育庁高校教育課・義務教育課、福岡県私学振興課を訪問し、協力依頼文書を交付し、「年金セミナーの開催」および「年金エッセイの募集」について協力依頼を行いました。
令和7年5月29日（木）	福岡県内の818校（中学校（私立）28校、高等学校184校、大学・短大、専修学校・各種学校275校、中学校（公立）331校）あてに対し、案内文書およびセミナー案内リーフレット等を送付しました。
令和7年6月19日（木）	福岡県高等学校家庭科研究会総会・研修会に出席し、年金セミナーの開催等について、協力依頼を行いました。
令和7年6月～	各学校への文書送付後は地域年金推進員による訪問勧奨を実施しました。

## 【年金セミナー案内リーフレット】

### 「年金セミナー」のご案内

日本年金機構では、これからの社会を担う若い世代の方を対象に、公的年金の必要性を正しく理解していただくため「年金セミナー」を実施しています。「年金セミナー」では、新しいものと思われる様々な年金制度について、分かりやすく丁寧に説明します。学校の授業（※）や総合学習などの時間を活用した「年金セミナー」の実施を、ぜひご検討ください。

※ ⑧「高等学校及び社会保険教育推進活用マニュアル」にも掲げた内容です。


**実施方法は3つの中からお選びいただけます。**

- 1 訪問・対面型 学校での授業時、授業後に実施ください。
- 2 専用動画の視聴
- 3 非対面型（Web会議ツール等を活用）

年金事務所	所在地	電話番号
東福岡年金事務所	〒812-8857 福岡市東区橋本3-12-32	092-491-7987
博多年金事務所	〒812-8540 福岡市博多区博多駅前3-14-1 〒812-8541 福岡市博多区博多駅前2-1-1	092-474-0012
中福岡年金事務所	〒810-8668 福岡市中央区天神2-8-25	092-751-1232
西福岡年金事務所	〒819-8502 福岡市西区芥子1-3-7	092-883-9962
南福岡年金事務所	〒815-8508 福岡市南区渡辺3-1-27	092-862-6112
大牟田年金事務所	〒830-8501 大牟田市南門前2-1-1	0942-33-6192
小倉南年金事務所	〒800-0294 北九州市小倉南区大倉町1-8-6	093-471-8873
小倉北年金事務所	〒803-8588 北九州市小倉北区大倉町13-3	093-583-8340
豊前年金事務所	〒822-8559 豊前市志志1-9-1	0949-22-0881
八幡年金事務所	〒806-8555 北九州市八幡西区渡辺1-5-5	093-631-7962
大牟田年金事務所	〒836-8501 大牟田市大牟田2-1-10	0944-52-5294

※ 訪問型は、お近くの年金事務所までご連絡ください。（出張型）※ 1日最大 1会場限り

※ 予約した「年金セミナー実施予定表の紙版（FAX）」の提出にご協力ください。


**日本年金機構**  
 Japan Pension Service

- #### 1 訪問・対面型

日本年金機構の職員が講師として学校に訪問し、受講者の方々と対面する年金セミナーを実施します。

実用例：学年全体（集合形式）やクラスの授業時間で実施
- #### 2 専用動画の視聴

厚生労働省・日本年金機構では、公的年金の制度利用動画を作成しています。教材として使用しやすいよう、目的別により分けてまとめているので、学校の授業等でぜひご活用ください。

※ 制度利用動画は、厚生労働省YouTubeにも掲載されています。詳細は、案内のリーフレットをご覧ください。

（※視聴後にアンケートの提出をお願いします。）


実用例：DVDで視聴（タブレット端末やテレビモニター等）
- #### 3 非対面型（Web会議ツール等を活用）

Web会議ツール等を利用して行う、非対面型の年金セミナーです。

※ 日本年金機構ではMicrosoft Teamsを利用して実施しています。学校で対応のWeb会議ツールを利用する場合は、講師が学校にお呼びします。


実用例：
 

厚生労働省



講師

学校



受講者

講師のWeb会議ツールを利用する場合      学校のWeb会議ツールを利用する場合

以下は、年金セミナーの実施例です。ご要望がある場合は、お気願ひにご確認ください。

【年金セミナーの内容】

  - ・公的年金制度全般について（全年齢）
  - ・公的年金から年金生活へ移行する（生徒・学生、20歳になる方等）
  - ・就職したら年金はどうなるか（生徒・学生、就職を予定している方等）
  - ・学生の勤労で収入が少ない場合の年金の手続き（生徒・学生、保険料の免除を希望する方等）
  - ・1人が専業主婦になった場合に年金生活が安定するためには（全年齢）

【実施時間（時間割）の例】

  - ～30分、30分～45分、1時間、1時間30分等、自由に設計できます
  - ・ご希望の時間割についてもご相談ください

# 地域年金推進員の取組

## 地域年金推進員連絡会議の開催

令和7年4月24日（木）、令和7年10月29日（水）に地域年金推進員および各年金事務所副所長による地域年金推進員連絡会議を開催しました。年金セミナーを効果的に実施するためには地域年金推進員の協力が極めて重要であるため、ご意見をいただきながら、さらなる連携強化を図ります。

主な議題	令和6年度年金セミナー等の実施結果報告
	令和7年度取組方針（年金セミナー、エッセイ）
	令和7年度取組状況（年金セミナー、エッセイ）
	担当エリアごとに分かれての意見交換・情報共有

## 地域年金推進員委嘱拡大の取組

福岡県の地域年金推進員4名は、高等学校長OBで構成されています。地域年金推進員の活躍により、福岡県では高等学校のセミナー実施が最多となっています。その一方で、中学校のセミナー実施校数は伸び悩んでいます。

今後は、中学校のセミナー実施も増やしていきたいと考えています。地域年金推進員の活動は地域年金展開事業の実施に多大な影響があることから、地域年金推進員の新規委嘱を推進しています。以下のとおり取り組んでいます。

時期	取組内容
令和7年9月2日（火）	福岡県指導主事等研修会に出席し、地域年金推進員の委嘱拡大について、協力依頼を行いました。

### 【今後の予定】

福岡県庁の方に紹介していただいた退職中学校長会にアプローチし、委嘱拡大を図る予定です。

# 年金セミナーの実施

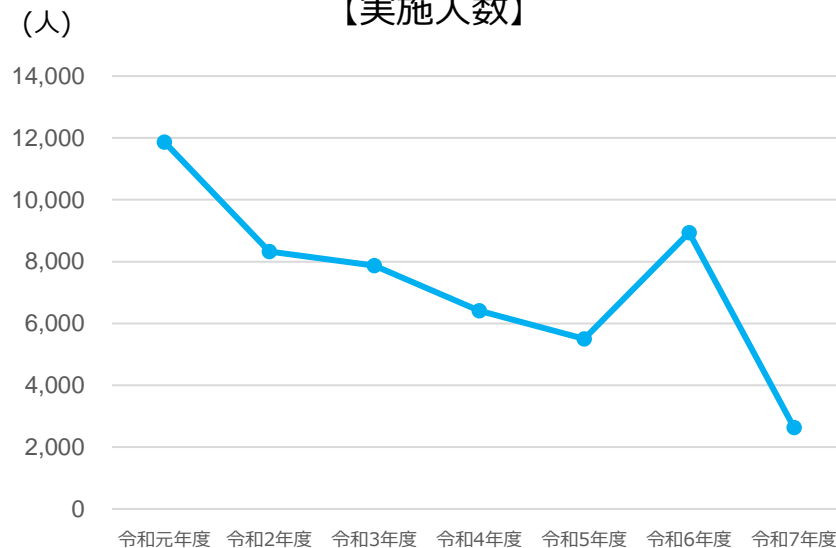
## 年金セミナー 実施回数及び実施人数

- 「実施回数」、「実施人数」とともに、年度末には令和6年度より増となる見込です。

【実施回数】

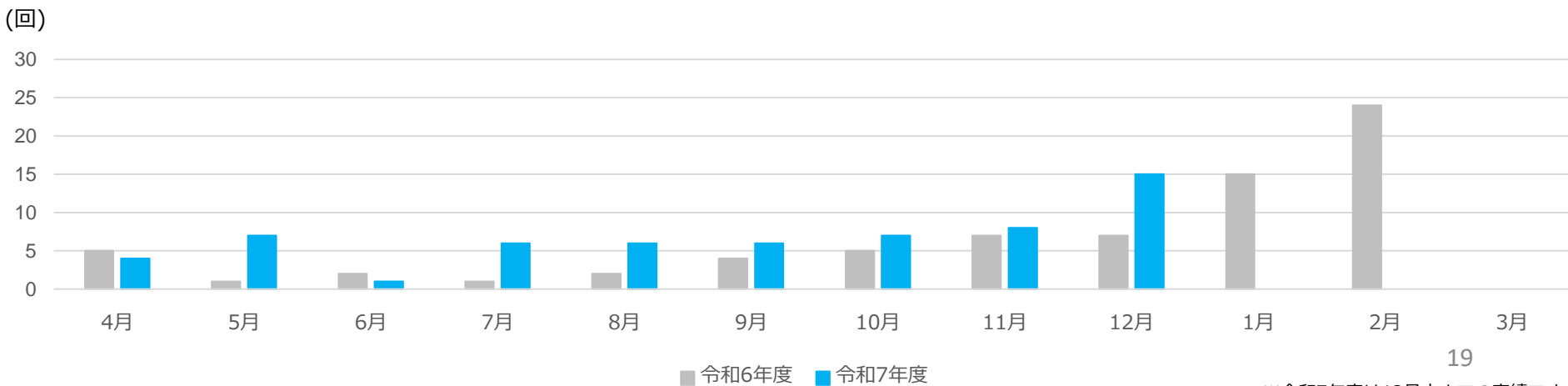


【実施人数】



## 年金セミナー 月別実施回数の比較

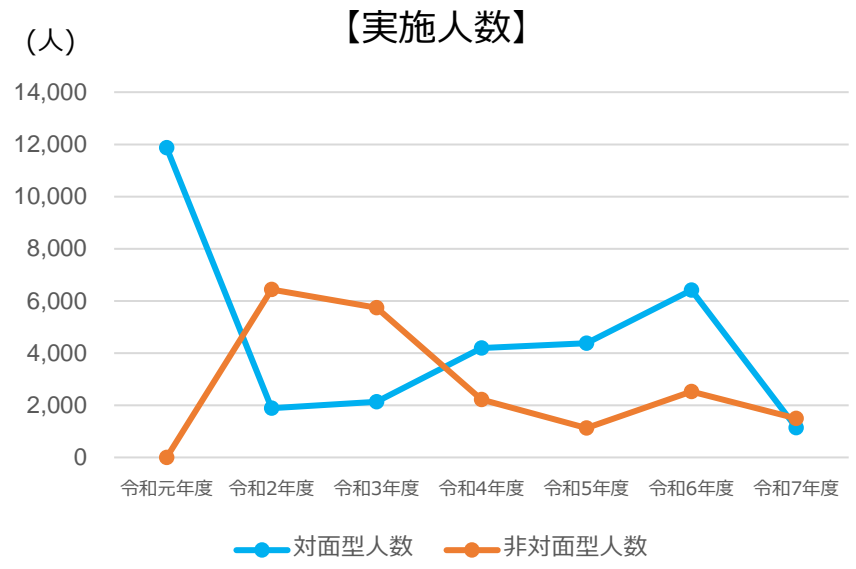
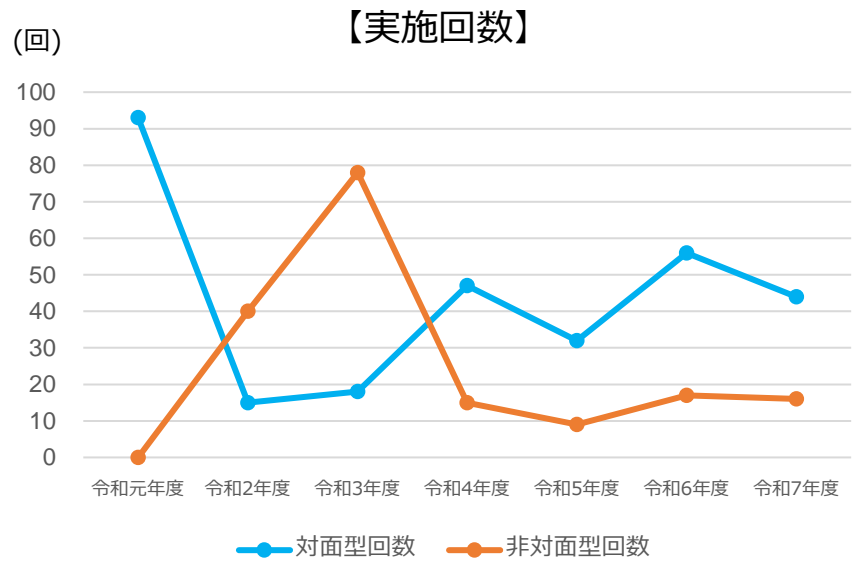
- 例年、11月～2月に開催が多くなる傾向があります。



# 年金セミナーの実施

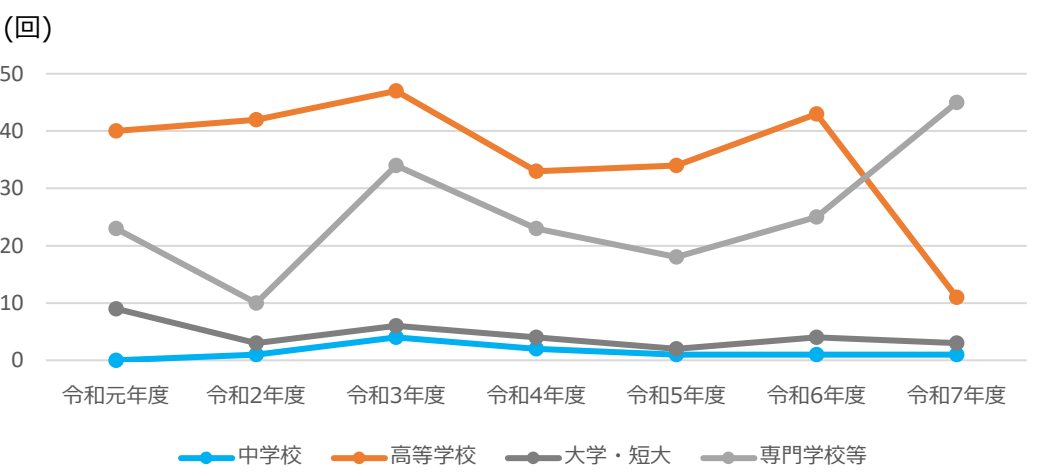
## 年金セミナー 対面型・非対面型の比較

・「実施回数」、「実施人数」とともに、年度末には令和6年度より増となる見込です。



## 年金セミナー 実施学校数の増加

・中学校の実施回数が伸び悩んでいます。中学校長OBの地域年金推進員を新規委嘱し、実施校数増を図ります。



より多くの方にセミナーを受けていただけるよう、「非対面型」セミナーを増やす取組を検討します。

## 出張年金相談

年金事務所から遠隔地にお住まいの被保険者・受給者への相談サービスの充実のため、福岡県社会保険労務士会と連携し、以下のとおり出張年金相談を開催しました。年金事務所窓口への来訪者数や年金請求書の受付件数が増加しているところですが、遠隔地にお住まいの被保険者・受給者にとって、出張年金相談は極めて重要な相談の機会であり、多くのニーズもあることから、市町村や関係機関と連携した上で今後も開催していきます。

年金事務所	開催場所	時間	開催頻度
東福岡	福津市健康福祉総合センターふくとびあ	10:00～16:00（12～13時は除く）	毎週
東福岡	宗像市役所	10:00～16:00（12～13時は除く）	毎月2回
東福岡	志免町役場本館応接室①②	10:00～16:00（12～13時は除く）	毎月2回
南福岡	朝倉商工会議所	10:00～15:00（12～13時は除く）	毎月2回
久留米	大川商工会議所	10:00～15:00（12～13時は除く）	毎月1回
久留米	うきは市民センター	10:00～15:00（12～13時は除く）	毎月1回
小倉南	行橋商工会議所	10:00～15:00（12～13時は除く）	毎月1回
小倉南	豊前地域職業訓練センター	10:00～15:00（12～13時は除く）	毎月1回
直方	嘉麻市役所本庁4H会議室	10:00～16:00（12～13時は除く）	毎月1回
直方	田川青少年文化ホール	10:00～16:00（12～13時は除く）	毎月1回
直方	川崎町総合福祉センター	10:00～16:00（12～13時は除く）	毎月1回
直方	飯塚市立岩交流センター	10:00～16:00（12～13時は除く）	毎月2回
大牟田	柳川商工会議所	10:00～15:30（12～13時は除く）	毎月1回

## 出張年金相談（大学）

若年層への制度周知や国民年金保険料収納対策として、以下の大学において年金相談会を実施し、学生納付特例申請の説明・受付等を行いました。若年層への制度周知は、国民年金の入口対策、納付率向上につながるため、教育機関と連携した取組を定着させていきたいと考えています。

実施日	時間	大学名	来訪者	結果
令和7年5月19日（月）	10：30～14：00	福岡工業大学	43名	学生納付特例申請書受付20件 制度周知・納付相談23件
令和7年5月22日（木）	10：00～15：00	九州大学	28名	学生納付特例申請書受付6件
令和7年5月23日（金）	10：00～11：30	九州共立大学	19名	学生納付特例申請書受付（件数不明）
令和7年6月2日（月）	15：00～16：00	日本ウェルネススポーツ大学	20名	学生納付特例申請書受付20件
令和7年9月18日（木）	11：30～14：30	九州産業大学	3名	学生納付特例申請書受付1件 制度周知・納付相談2件
令和7年9月22日（月）	8：30～15：00	早稲田大学大学院	30名	学生納付特例申請書受付30件
令和7年9月26日（金）	12：30～13：30	九州共立大学	20名	学生納付特例申請書受付20件
令和7年9月29日（月）	13：00～16：00	早稲田大学大学院	20名	学生納付特例申請書受付20件
令和7年12月3日（水）	10：00～14：00	北九州市立大学	10名	制度周知・納付相談10件

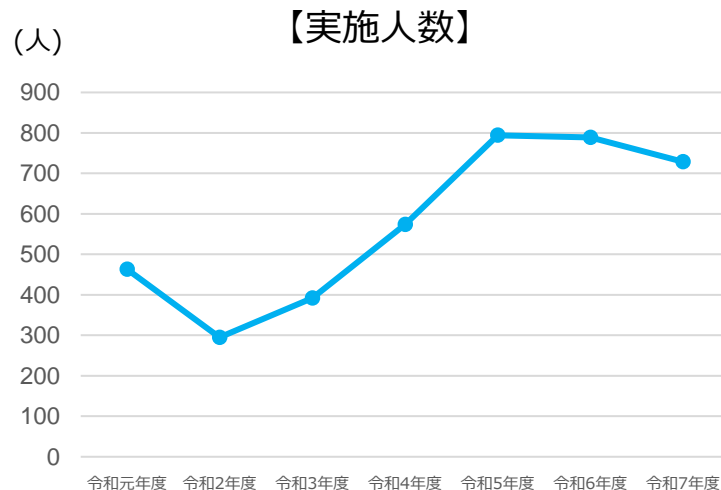
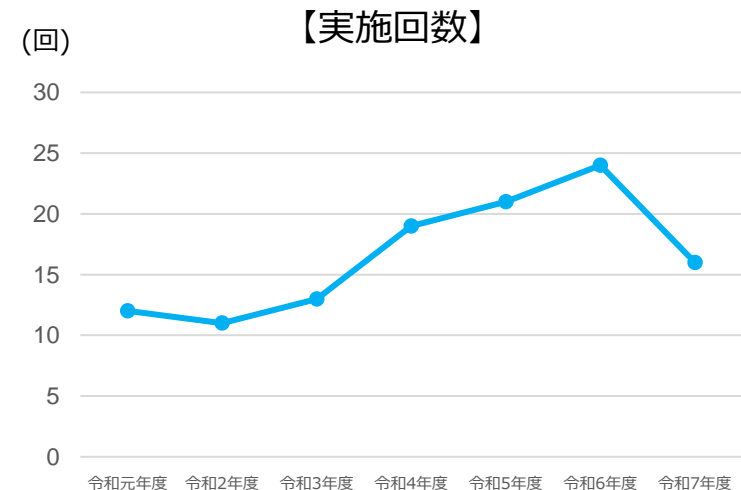
※上記以外、4月に久留米市役所と連携し、久留米工業大学、聖マリア学院大学、久留米大学の学生向けのポータルやメールを活用し、学生納付特例の制度周知を実施しました。

# 特別支援学校への制度説明会

特別支援学校の生徒は、将来、障害年金を受給する可能性が高く、保護者や教職員に対する制度説明は極めて重要であるとの認識から、以下の通り重点的に取組を進めました。

時期	取組内容
令和7年5月23日（金）	福岡県教育庁特別支援教育課を訪問し、協力依頼文書を交付し、制度説明会開催への協力依頼を行いました。
令和7年5月29日（木）	福岡県内41校の特別支援学校に対し、案内文書および「障害年金ガイド」を送付しました。
令和7年6月18日（水）	福岡県特別支援学校長協会総会・研究協議会に出席し、障害年金制度説明会の開催等について、協力依頼を行いました。
令和7年6月～	特別支援学校への文書送付後は地域年金推進員による訪問勧奨を実施しました。

- 「実施回数」、「実施人数」とともに、年度末には令和6年度より増となる見込です。



【障害年金制度説明会案内リーフレット】

特別支援学校の教職員・保護者の皆さまへ  
「障害年金制度説明会」のご案内

日本年金機構では、特別支援学校の教職員や保護者の皆さまに障害年金制度を正しく理解していただく。保護者の皆さまの不安を取り除くための「障害年金制度説明会」を実施しています。

「障害年金制度説明会」では、障害年金制度の概要、申請書の書き方、年金額などについて、丁寧に分かりやすく説明します。

いつ、どんな手続きが必要なのか、今のうちに準備することはあるのか？  
障害年金の金額は？

実施方法は次の2つからお選びいただけます。

- 1 訪問・対面型
- 2 非対面型（Web会議ツール等を活用）

※実施方法の詳細は裏面をご確認ください。

年金事務所	障校名	電話番号
厚狭年金事務所	〒812-8687 福岡県厚狭市5-12-32 福岡県厚狭市立特別支援学校	092-281-7957
博多年金事務所	〒812-8540 福岡県博多区博多駅前4-1-1 博多市立特別支援学校	092-474-0112
中津年金事務所	〒810-0868 福岡県中津市中央1-1-1 中津市立特別支援学校	092-741-1333
西郷年金事務所	〒810-0802 福岡県西郷地区1-1-37 西郷地区立特別支援学校	092-882-9903
大牟田年金事務所	〒815-8558 福岡県大牟田市1-1-27 大牟田市立特別支援学校	092-802-1112
久留米年金事務所	〒816-8501 福岡県久留米市東区1-1-1 久留米市立特別支援学校	094-336-1993
糸島年金事務所	〒810-0344 福岡県糸島市藤原下町1-8-5 糸島市立特別支援学校	093-471-6673
小倉北年金事務所	〒813-8588 北九州市小倉北区大塚町12-3 小倉北特別支援学校	093-283-8340
唐津年金事務所	〒812-8555 唐津市南町1-1-1 唐津市立特別支援学校	0949-22-2891
久留米年金事務所	〒816-8502 北九州市久留米市東区1-1-5 久留米市立特別支援学校	094-331-7955
大牟田年金事務所	〒815-8501 大牟田市大塚町2-10 大牟田市立特別支援学校	0944-52-5204

※詳細は「障害年金制度説明会案内文書の別添（FAX）」の欄にご確認ください。

日本年金機構  
Japan Pension Service

1 訪問・対面型

日本年金機構の職員が講師として学校に訪問し、受講者の方々と対面による障害年金制度説明会を実施します。

2 非対面型（Web会議ツール等を活用）

Web会議ツール等を活用して行う、非対面型の障害年金制度説明会です。  
※日本年金機構ではMicrosoft Teamsを活用しています。学校が対応しないWeb会議ツールを利用する場合は、講師が学校に訪問します。

実施例

訪問型（対面型）  
非対面型（Web会議ツール等を活用）

【受講者の感想（節）】

- 障害年金という言葉は知っていたが、内容はほとんど知らなかったで参考になった。いつかはお世話になる制度だと思っているので、これを機に日頃からの情報収集しようと思う。
- 講求する時期や必要書類等について、具体的に教えてもらえる機会になった。やる気にもつながったことと、手紙が20歳になるまでの贈り物の心構えができ、安心した。
- 障害年金のパンフレットが見やすく分かりやすかった。時間が短くても、後で見直しができると思う。
- お話を聞いて、今後の教育活動に活かしていきたい。

# ハローワークでの制度説明会

ハローワークにおいて、求職者や失業者に対する年金制度説明会を定期的に行いました。あわせて、国民年金保険料免除申請にかかる相談会を行いました。また、制度説明用動画の上映やハローワーク職員による免除等書類一式の交付、リーフレットの設置に協力いただきました。

ハローワーク	管轄事務所	説明会（頻度）	動画上映	HW職員による 免除等書類交付	リーフレット設置
福岡中央	博多・中福岡	週1回（午前・午後）	—	—	—
福岡東	東福岡	週2～3回（午前・午後）	—	○	—
福岡西	西福岡	週2回（水曜・金曜）	—	—	○
福岡南	南福岡	週1回（終日又は午後）	—	○	—
朝倉	南福岡	—	—	○	—
八女	久留米	—	○	○	—
行橋	小倉南	—	—	○	—
行橋豊前（出）	小倉南	—	—	○	—
小倉	小倉南・小倉北	—	○	○	○
小倉門司（出）	小倉北	—	—	○	○
飯塚	直方	月1回	—	○	○
直方	直方	月1回	—	○	○
田川	直方	月1回	—	○	○
八幡黒崎駅前	八幡	—	○	○	○
八幡若松（出）	八幡	—	○	○	○
八幡戸畑（分）	八幡	—	○	○	○
大牟田	大牟田	—	—	○	—

# 年金委員委嘱拡大の取組

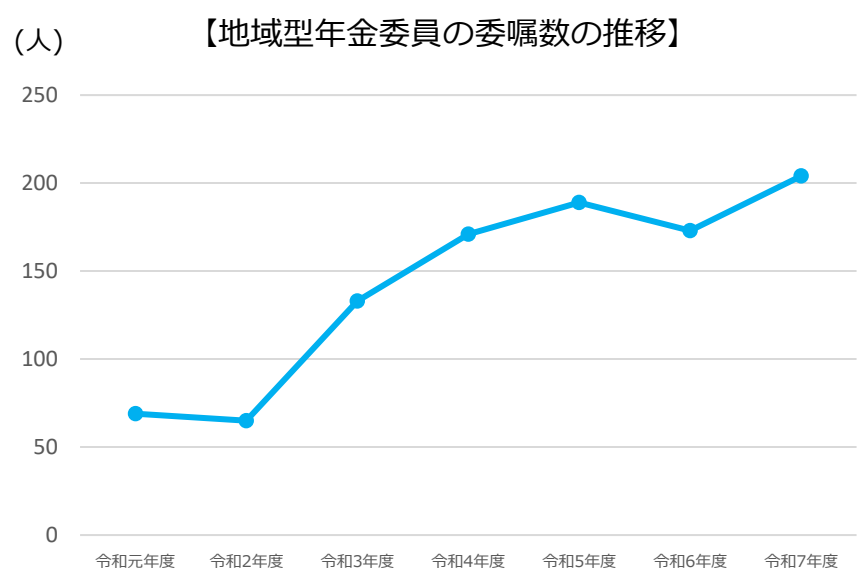
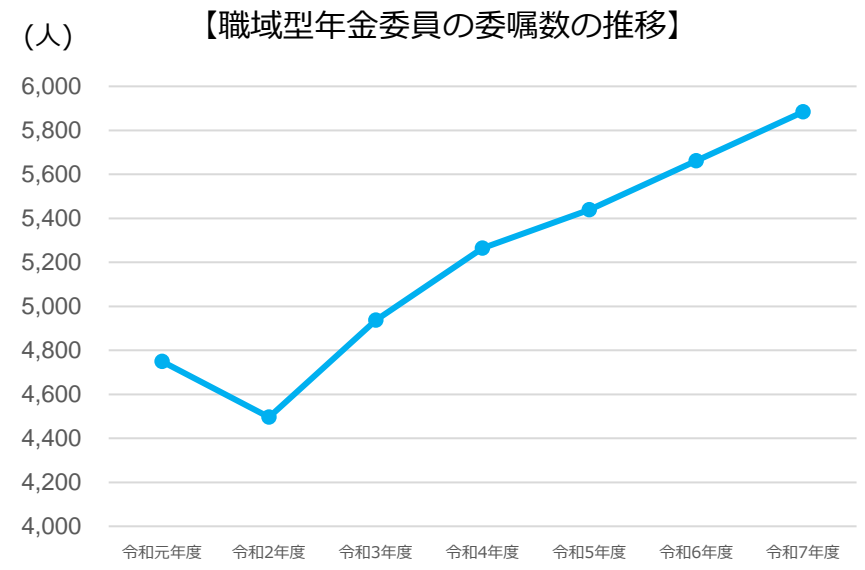
## 職域型年金委員委嘱拡大

職域型年金委員については、以前は令和6年10月からの短時間労働者の適用拡大に向け、制度改正の対象となる被保険者数50人以上の事業所を中心に委嘱拡大に取り組んできましたが、現在は被保険者数を限定せずより多くの事業所に年金委員を設置していただき、「職場における機構職員」として従業員やその家族に年金制度を周知していただけるよう委嘱拡大に取り組んでいます。

## 地域型年金委員委嘱拡大

地域型年金委員については、令和6年度は3年の任期を満了する際に、高齢を理由に辞退されるケースが多く、結果的に委員数が減となりました。

令和7年度は関係機関に積極的なアプローチを行い、委嘱拡大に取り組むとともに、「地域における機構職員」としての役割を明確に示し、活動をサポートしていきます。



※令和7年度は12月末までの実績です。

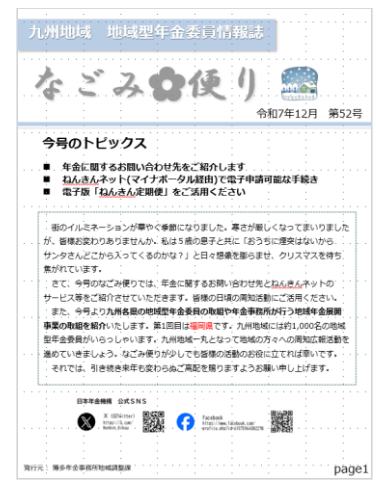
# 地域型年金委員向け情報誌の発行

地域型年金委員が円滑に活動できるよう、年金に関する情報や地域型年金委員に協力をお願いしたい内容等をお知らせする情報誌「なごみ便り」を偶数月に発行しています。年金委員活動のさらなる活性化のため、令和7年12月号より、「なごみ便り」最終ページに各県の取組紹介ページを掲載しています。

## 【令和7年度の主な掲載記事】

掲載記事	令和7年4月号	令和7年6月号	令和7年8月号	令和7年10月号	令和7年12月号
トピック	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の老齢基礎年金の年金額</li> <li>在職老齢年金にかかる支給停止額の基準</li> <li>令和7年度の国民年金保険料と納付方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わたしと年金」エッセイの募集</li> <li>国民年金保険料の追納制度</li> <li>地域型年金委員連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本に居住する外国人の年金制度について</li> <li>社会保障協定の仕組み</li> <li>Facebookアカウント開設について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本年金機構が送付する各種お知らせについて</li> <li>令和7年10月より健康保険の扶養の認定要件が変わります（19歳以上23歳未満）</li> <li>戸籍等に記載される氏名の振り仮名を変更する方へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金に関するお問い合わせ先</li> <li>ねんきんネット(マイナポータル経由)で電子申請可能な手続き</li> <li>電子版「ねんきん定期便」について</li> </ul>
各県の取組					<ul style="list-style-type: none"> <li>地域型年金委員紹介</li> <li>令和7年度 福岡県年金委員・健康保険委員功労者合同表彰式</li> </ul>

## 【紙面イメージ】



# 年金委員向けの研修

年金委員は地域や職場での制度周知・理解の促進に欠かせない存在であり、国民年金保険料納付率の向上、無年金者・低年金者の防止に貢献していただく、いわば「地域や職場における機構職員」であることから、研修会による情報提供を通じて活動をサポートしていきます。

## 職域型年金委員研修会

### 主な研修内容

1	オンラインサービスに関するもの	7	短時間労働者適用拡大に関するもの
2	外国人、外国人を雇用する企業及び支援団体等を対象としたもの	8	国民年金の追納に関するもの
3	事業所調査における指摘事項の多い事例に関するもの	9	年金受給に関するもの（遺族）
4	育児休業に係る保険料免除等に関するもの	10	年金委員向け厚生年金保険・健康保険に関する制度及び事務手続き説明
5	年金受給に関するもの（老齢）	11	一般的な年金制度説明(事業所・年金委員向け)
6	算定基礎届事務に関するもの	12	国民年金制度説明

開催実績	回数	参加者
令和7年度	35回	694名

## 地域型年金委員研修会

博多年金事務所からWeb会議システム（Microsoft Teams）および日本年金機構のテレビ会議システムを使用して、自宅（自社）または管轄年金事務所を受講する方式で実施します。

実施日	地域型年金委員人数	参加人数	研修内容
令和7年8月29日（金）	157名	49名（オンライン32名、対面17名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺族年金について知っておきたいポイント</li> <li>外国人に関する年金制度</li> </ul>
令和8年2月18日（水） （予定）	196名	76名（オンライン51名、対面25名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人の年金制度について</li> <li>社会保険適用拡大と在職老齢年金について</li> </ul>

# 地域型年金委員連絡会

地域型年金委員が組織的に活発な活動ができるように、都道府県単位の「福岡県地域型年金委員連絡会」と年金事務所単位の「地域型年金委員地区連絡会」を設置し、年金制度に関する情報提供や活動支援を行っています。令和7年度は、上期（令和7年5月28日（水））、下期（令和7年12月11日（木））1回ずつの計2回開催しました。上期の会議において、年金委員の方から「他の管轄の年金委員との意見交換を実施してはどうか」という意見をいただき、下期会議は以下のとおり開催しました。

開催日時	令和7年12月11日（木） 10:00～11:45
開催方法	博多、久留米、八幡年金事務所で集合実施 【博多年金事務所からの説明をテレビ会議で中継】 ※管轄年金事務所での参加を希望する委員は、従来通り管轄年金事務所で参加
参加人数	44名（集合先拠点に参加した他管轄委員の人数：11人（博多8人、久留米1人、八幡2人）
実施内容	上期取組結果・下期取組方針報告、活動事例紹介、意見交換会、研修（ねんきんネットの操作方法等）

## 【連絡会イメージ図】

<b>01</b>	<b>博多年金事務所から説明</b>	<b>02</b>	<b>意見交換会</b>	<b>03</b>	<b>TV会議システムで 意見の共有</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度上期取組結果</li> <li>令和7年度下期取組方針報告</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各年金事務所で実施</li> </ul> <p>【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 活動の際に困ったことや不安に感じることはありますか。</li> <li>◆ 若年層や外国人に対する制度周知のためには、どのような周知（場所、方法）が効果的だと思いますか。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビ会議システムを活用し、各年金事務所の意見交換結果を全拠点で共有</li> </ul>	

# 地域型年金委員連絡会

以下の2つのテーマをもとに意見交換を実施しました。実施後、テレビ会議システムを活用し、各年金事務所の意見交換結果を全拠点で共有しました。以下のとおり貴重な意見をいただきましたので、今後の活動の参考にさせていただきます。

テーマ1	活動の際に困ったことや不安に感じることはありますか。
テーマ2	若年層や外国人に対する制度周知のためには、どのような周知（場所、方法）が効果的だと思いますか。
区分	意見
周知不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金委員活動の中で、年金委員制度の周知が不十分であると感じる。年金制度の周知と併せて、年金委員の制度を周知してほしい。</li> <li>町内会や民生委員への周知として、職員も同行して民生委員の集まりへ行くことを検討してほしい。</li> <li>年金委員の名簿を市区町村へ共有いただくと、依頼がスムーズになるのではないかな。</li> <li>公民館で相談会を実施するのはいい取組だが、アプローチを年金委員が行うことは難しいので、年金事務所が道筋をつけてほしい。</li> <li>図書館などへのリーフレット配付は効果的ではないかな。</li> </ul>
活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金委員としてどのような活動する必要があるのか、具体的な取組を年金事務所から示してほしい。なごみ便りや今回のように連絡会等で活動を紹介をしていただくと参考となる。継続してほしい。</li> <li>集合での研修参加が難しいため、オンラインでの研修の回数を増やしてほしい。</li> <li>機構が作成した動画について、例えば外国人向けの動画を研修等の機会に年金委員も視聴する機会を設けてもいいのではないかな。</li> </ul>
外国人対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人の集まる場所など情報収集して、年金事務所がアプローチをして開拓するべき。</li> <li>例えば、製造業等の特定の事業所に多くの外国人が勤務していることが想定されるので、年金事務所がどの事業所に外国人が多いのかな等を選定し、説明会の実施を社労士等に引き継ぐ等の取組が効果的ではないかな。</li> <li>学校関係者（外国語学校等）への説明を行うべき。説明の際は、相手の国の制度を例にして説明する等の工夫をするべき。</li> <li>諸外国の食材を扱っているスーパーやモスクなどの外国人が集まる場所にパンフレットを置かせていただくと効果的ではないかな。</li> <li>外国人はYouTubeから情報を得ていることも多いので、機構が作成している動画等を用いて効果的に周知してはどうか。</li> </ul>

会議後、「集合形式は、他の委員と意見交換ができて非常によかったため、継続してほしい」というご意見を多数いただきました。今後も定期的な実施を検討してまいります。

# 年金委員活性化のための取組

「年金委員活動の活性化」により、地域年金展開事業を基幹業務の推進に繋げるためには、年金委員との連携強化が必要不可欠です。地域型年金委員連絡会（以下「連絡会」という。）等で、地域型年金委員（以下「委員」という。）から提出されたご意見に関して、以下のとおり現状の課題を整理し、具体的な対応策を検討し、実行します。

委員からの意見	現状	課題への対応策
<ul style="list-style-type: none"> <li>委員としてどのような活動が必要かわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の委員は、委員がどのような活動を行っているのかを知る機会がない。</li> <li>具体的な活動内容（時期や周知内容）を提示した要請、情報提供頻度が不足している。</li> </ul>	<p><b>【情報提供方法と内容の改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なごみ便りに委員の活動紹介ページを新設し、「委員の活動内容」「実施に至るまでの取組」等を情報提供（令和7年12月～実施。26ページ参照）。</li> <li>委員の経歴等を踏まえ具体的な活動要請を検討する（下表参照）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>個人で活動するには限界があり、委員同士の情報交換機会が欲しい。</li> <li>活動先で年金委員制度が知られていないため、関係機関への周知をしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員委嘱後、委員同士が顔を合わせ情報共有する機会は連絡会に限られているが、年金事務所での対面参加数は2割弱にとどまっている。</li> <li>委員活動は委員個々の裁量にゆだねられており、孤立・不安を感じているとの意見がでており、活性化の阻害要因となっている。</li> </ul>	<p><b>【地域型年金委員の組織的活動の活性化に向けた取組を検討】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連絡会や研修会の集合開催（令和7年12月11日（木）に実施。28～29ページ参照）。</li> <li>関係機関へ協力依頼（年金委員の主な活動先となる公民館等を所管する関係機関（福岡県、福岡市）の担当部署へ年金制度、年金委員制度の周知を実行中）。</li> </ul>

委員の好取組として、以下の年金制度説明会があげられます。委員の経歴等を踏まえ具体的な活動要請を行うことで、効果的な制度周知につなげていきたいと考えています。

開催日	年金事務所	対象者名	テーマ	参加人数	備考
令和7年10月9日（木）	久留米	朝おきの会	年金受給に関するもの（老齢） 年金受給に関するもの（遺族）	27名	地域型年金委員が通っている朝おきの会で、 地域型年金委員が説明 30

## ねんきん月間の各事務所の取組

日本年金機構は、厚生労働省と協力して国民の皆様に公的年金を身近に感じていただき、年金制度に対する理解を深めていただくよう、毎年11月を「ねんきん月間」と位置付け、公的年金制度の周知・啓発活動を展開しています。

また、国民一人一人に「ねんきんネット」等を利用して年金記録や年金受給見込額を確認していただき、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを目的として、平成26年度から毎年11月30日（いいみらい）を「年金の日」に制定しています。

年金事務所	取組内容	日程	開催場所
東福岡年金事務所	こども絵画展 作品の展示	11月1日～11月30日	大規模商業施設と年金事務所
博多年金事務所	こども絵画展 作品の展示	11月4日～11月30日	博多年金事務所 4階エレベーター前
中福岡年金事務所	「わたしと年金」エッセイ関係の動画上映	11月30日	中福岡年金事務所お客様待合スペース
南福岡年金事務所	出張年金相談会	11月12日、11月26日	朝倉商工会議所
小倉南年金事務所	出張年金相談会	11月6日	行橋商工会議所
小倉南年金事務所	出張年金相談会	11月27日	筑前地域職業訓練センター
小倉南年金事務所	ねんきんネットの操作説明会	随時	小倉南年金事務所内
小倉北年金事務所	こども絵画展 作品の展示	11月4日～11月30日	小倉北年金事務所お客様待合スペース
小倉北年金事務所	年金ネットの広報（デジタルサイネージ）	11月中	小倉競輪場、若松競艇場
直方年金事務所	国民年金保険料の納付相談会	11月30日	直方年金事務所国民年金課窓口
直方年金事務所	こども絵画展 作品の展示	11月11日～11月30日	イオンモール直方 3階スカイテラス
直方年金事務所	こども絵画展賞状授与式・ねんきん教室	11月14日	直方北小学校 校長室
直方年金事務所	年金ネットの広報（デジタルサイネージ）	11月中	管轄市町村
大牟田年金事務所	出張年金相談会	11月27日	柳川商工会議所
大牟田年金事務所	国民年金保険料の納付相談会	11月12日	みやま市役所
大牟田年金事務所	国民年金保険料の納付相談会	11月12日	柳川市役所
大牟田年金事務所	職域型年金委員研修	11月20日	大牟田文化会館
大牟田年金事務所	職域型年金委員研修	11月21日	柳川市民文化会館
大牟田年金事務所	国民年金保険料の納付相談会	11月30日	大牟田年金事務所

# ねんきん月間の各事務所の取組

各年金事務所の取組の中から、小倉北年金事務所の「こども絵画展」と「市区町村のデジタルサイネージを活用したねんきんネットの広報」の取組内容を以下のとおりご紹介します。

## こども絵画展

小倉北年金事務所近隣の金田保育園の園児を対象に、こども絵画展を開催しました。園児たちが書いてくれた絵を年金事務所のお客様待合スペースに展示しました。また、絵画展の様子を新聞社の方に取材していただき、新聞に掲載していただきました。

【絵画展の様子】



【新聞記事】



※記事の掲載については、了承をいただいています。  
出典：西日本新聞社

## デジタルサイネージを活用したねんきんネットの広報

小倉競輪場と若松競艇場のデジタルサイネージを管理している北九州市のご協力により、ねんきんネット動画の放映が実現しました。

【小倉競輪場の様子】



【若松競艇場の様子】



入場無料。  
同事務所の山田敏之副所長は「公的年金というと、年を取ってから受け取る老齢年金を思い浮かべる人が多いが、障害年金や遺族年金もあり、誰もがいつ当事者になるかわからない。ぜひ年金への理解を深めてほしい」と話している。開催

は28日までの平日と「年金の日」の30日。(伊東秀純)

# 年金委員功労者表彰式

年金委員として多年にわたる活動に謝意を表すとともに、公的年金に係る事業の円滑な推進および年金委員活動の活性化を目的に、全国健康保険協会福岡支部および福岡県社会保険委員会連合会との共催により、「令和7年度福岡県年金委員・健康保険委員功労者合同表彰式」を開催しました。

年金委員表彰状伝達式の終了後、九州大学大学院法学研究院丸谷浩介教授より「2040年の年金、健康保険-増え続ける外国人とどう向き合うか」として、増え続ける外国人の現状と今後の展望について、大変わかりやすく講演いただきました。

開催日	令和7年11月12日（水）
会場	博多サンヒルズホテル

受賞者	
厚生労働大臣表彰（日本年金機構）	2名
厚生労働大臣表彰（協会けんぽ）	1名
日本年金機構理事長表彰	5名
日本年金機構理事表彰	10名
連合会長感謝状	9名

【表彰式の様子】

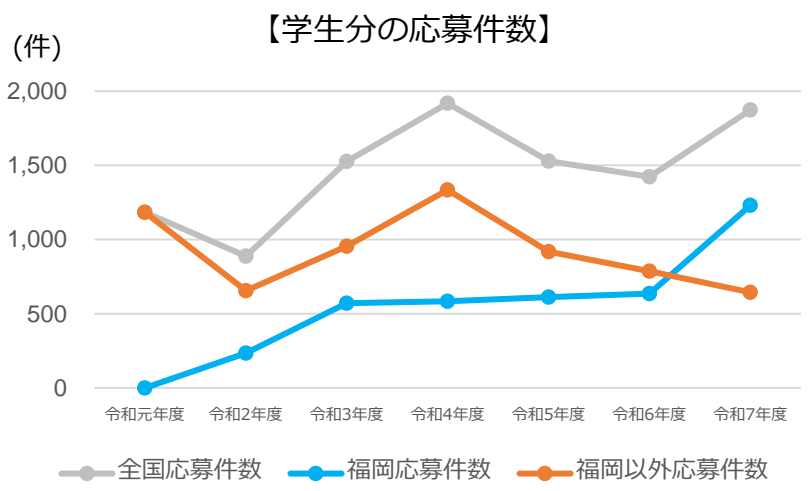


「2040年の年金、健康保険-増え続ける外国人とどう向き合うか」  
講師：丸谷 浩介（まるたに こうすけ）教授  
九州大学大学院法学研究院

# 「わたしと年金」エッセイ

「わたしと年金」エッセイの応募数ならびに応募校数の増加に向け、夏休みの課題等として取り入れてもらえるように、早期に教育機関等に対して協力依頼を行いました。また、地域年金推進員と連携し、教育機関に対し、精力的にアプローチを行いました。その結果、学生分の応募校数（13校。うち、新規7校）、応募件数（1,230件）いずれも全国最多を記録しました。

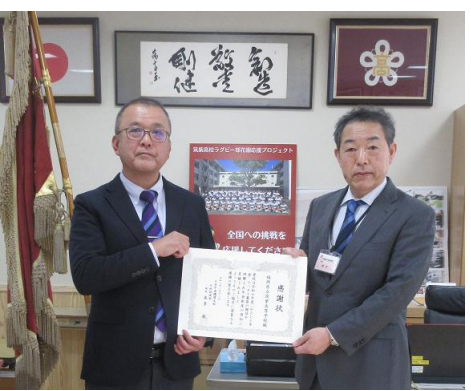
応募校数ならびに応募件数の増加は、教育機関等の理解はもちろん、地域年金推進員による周知・広報活動によるところが大きいと、今後も連携して取り組んでまいります。



- ・ 福岡県以外の応募件数は、令和4年度をピークに減少し続けています。
- ・ 福岡県は年々応募件数を増やしており、令和7年度は倍増しました。
- ・ 福岡県の応募件数は、全体の65.6%に達しています。

【学生分の応募件数】

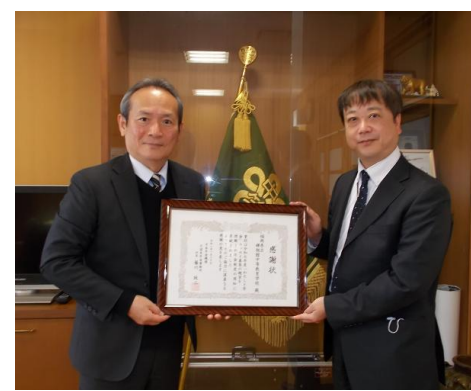
年度	全国応募件数	福岡応募件数	福岡応募件数割合	福岡以外応募件数
令和4年度	1,918	584	30.4%	1,334
令和5年度	1,529	611	40.0%	918
令和6年度	1,422	636	44.7%	786
令和7年度	1,874	1,230	65.6%	644



(筑紫高等学校)



(直方高等学校)



(輝翔館中等教育学校)



(大牟田高等学校)

※ 写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

# 前回会議で出た主なご意見への対応

項番	意見・提案	対応状況
1	「わたしと年金」エッセイの応募数について。福岡県からの応募が突出して多い理由を分析し、さらなる応募の増加に活用すべき。	①「福岡県庁への協力依頼」→②「学校への案内文書送付」→③「地域年金推進員の学校訪問による依頼」が機能した結果と考えます。今後も地域年金推進員連絡会議による認識の共有・連携を推進するとともに、地域年金推進員の委嘱拡大に注力し、更なる応募の増加に取り組みます。
2	「こども絵画展」について。報道機関にも取り上げてもらうため、積極的なプレスリリースを出すべき。その際、トピックになりそうなこと、例えば応募が過去最多など目を引く工夫を求めたい。	今年度は試行実施でしたが、来年度以降は本格実施されることが想定されますので、積極的なプレスリリースに取り組みます。
3	各種セミナーの実施は、大変有効なので内容と参加者については充分検討して臨む必要があると思います。今後も是非努力をしていただきたい。	更なるセミナーの充実に向け、講師の養成、内容の検討に取り組みます。セミナーの実施そのものについても、動画を有効活用できるよう取り組みます。
4	年金制度についての理解を深めるには、色々な場を作る必要があります。年金協会の活用について日本年金機構本部ももっと全年連と協議をして下さい。	ご意見ありがとうございます。いただいたご意見については、本部に上申いたします。
5	地域型年金委員について。地域住民のつながりが希薄化している状況で、地域型年金委員はどのように活動しているのでしょうか。地域活動の中で、若年層や外国人等への制度周知・啓発は具体的にどのように行われているのでしょうか。（チラシ配布のほかに）	地域活動の中で有効な取組が可能となるよう、現在、福岡県、福岡市の公民館等を所管する部署に協力依頼を行っています。地域型年金委員の具体的な取組については、チラシ配布を想定していますが、委員の属性に応じた取組依頼（説明会の開催等）を検討中です。
6	特別支援学校への制度説明会の開催は大変有意義で有効な取組だと思しますので、今後とも継続・拡大して頂きたい。	特別支援学校への制度説明会については、アプローチ方法等を工夫し、拡大できるよう引き続き取り組みます。
7	年金セミナー事業について。教育関係機関と連携した年金セミナーの実施については、小学校・中学校・高校へのアプローチは重要で、大切な活動なので、引き続きぜひ取組や検討をしていただきたい。	若年者への制度周知は非常に重要な取組と位置付けています。有効な手段である年金セミナーの開催については引き続き注力します。また、取組の中核である地域年金推進員の委嘱拡大にも取り組みます。

# 3. 令和8年度事業計画（案）

# 取組方針

年金制度に対する正しい知識と理解を深め、制度加入や保険料納付に結び付けるため、地域、企業、教育等の様々な場において、年金制度の普及・啓発活動を行う「地域年金展開事業」を推進します。

特に以下について重点的に取り組みます。

## 重点取組事項

オンラインサービスの推進

外国人への適用・収納対策の推進

関係機関・団体等との協力連携の推進

年金委員活動の活性化

ねんきん月間、年金の日を中心とした普及・啓発活動の充実

# 地域連携事業

正しい年金制度の知識や手続き、制度改正等の情報等を地域において周知することは、地域年金展開事業の核となる重要な取組です。市区町村、自治会、事業所、関係機関・団体等と協力連携し、年金制度説明会をはじめとする地域に根付いた情報提供活動を実施するとともに、その活動を通じて基幹事業の推進を図ります。

## 企業や団体に対する年金制度説明会の開催

- 企業や団体等に対する年金制度・事務手続き説明会を通じて、電子申請やねんきんネット、制度改正事項等について周知・広報し、オンラインサービスの利用促進、事務手続きの適正化を図ります。
- 年金事務所単独で開催するほか、関係機関・団体等と合同で年金制度説明会を開催します。

## 関係機関・団体等と連携した取組

- 関係機関・団体等と連携し、外国人への適用・収納対策やオンラインサービスの推進に取り組みます。
- 関係機関・団体等に、窓口での年金制度に関するポスターの掲示およびリーフレットの設置を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図ります。

## 市区町村広報誌等の活用

- 市区町村担当者向け情報誌「かけはし」を年6回（奇数月）送付し出張年金相談の日程や年金制度に関する情報提供を行います。
- 社会保険協会発行の広報誌に記事等を掲載します。

# 年金セミナー事業

高校生や大学生等の若い世代が、年金の正しい知識や手続きに触れ、年金制度が身近で重要なものであるとの認識を深めていただき、適正な加入や保険料納付等に結び付けるため、教育関係機関と連携し、年金セミナーを実施します。

## 年金セミナー実施に向けたアプローチ

- 教育関係機関に対し、年金セミナーの実施や年金エッセイの募集について協力依頼を行います。
- 中学校、高校、大学、専門学校等に対し、動画のURLを記載した案内文書やリーフレットを送付します。
- 地域年金推進員を中心に、文書を送付した学校に対し訪問等のアプローチを積極的に行います。

## 年金セミナーの実施および内容の充実化

- 受講者との対話を取り入れた対面式セミナーやオンラインセミナー、動画視聴など、各学校のニーズや環境に応じた多様な年金セミナーを実施します。
- 年金セミナー実施後のアンケート結果や先生方のご意見をもとに、適宜、実施方法や資料を工夫します。
- 年金セミナー講師育成のための研修やコンテストを充実させます。

## 地域年金推進員の活用

- 地域年金推進員が高校等を訪問し、リーフレットを活用した説明、年金セミナーの実施や年金エッセイの募集へのアプローチを行います。その際、博多年金事務所を中心に、地域年金推進員に定期的に連絡を行い、活動をフォローアップします。
- 定期的に連絡会議を開催し、地域年金推進員との意見交換・情報共有を行い、年金セミナーの充実を図ります。
- 地域年金推進員の委嘱拡大を図ります。特に中学校長OBの委嘱に注力します。

# 地域相談事業

地域における年金相談や制度説明会を通じ、年金制度への理解を深めていただくため、自治体や教育機関、商業施設等に出向き、出張年金相談を実施します。

## 市町村等における出張年金相談の実施

- 年金事務所から遠隔地の市町村に赴き、定期的に出張年金相談を実施します。

## 教育機関と連携した年金相談の実施

- 若年層への制度周知や国民年金保険料収納対策を目的として、大学や専門学校等において年金相談を実施するとともに、学生納付特例の案内を行います。

## 社会福祉施設における障害年金制度説明会の実施

- 地域年金推進員と連携し、特別支援学校等に対し、障害年金制度に関する制度説明会の実施に向けたアプローチを行います。
- 特別支援学校等の教職員や保護者に対し、ニーズに応じた多様な制度説明会を実施します。

## ハローワークでの雇用保険受給者説明会にあわせた国民年金制度説明会の実施

- ハローワークの雇用保険受給者説明会で国民年金手続き等の周知を実施します。

## 「ねんきん月間」を活用し、多様な方法により公的年金制度の周知・広報を実施

- 民間商業施設等における年金相談会を実施します。

# 年金委員活動の活性化・委嘱拡大

地域や職場等で活動する年金委員に対し、研修や定期連絡会等により必要な情報を提供するとともに、活動要請を行います。また、年金委員制度を広く周知し、新たな年金委員の委嘱拡大に関する取組を実施します。

## 地域型年金委員が活動しやすい環境整備の実施

- 活動先となる地域社会（公民館等）を所管する市区町村の担当部署に対し、年金制度、年金委員制度の周知・広報を行い、併せて年金委員活動の協力を依頼します。

## 研修会の実施

- 厚生労働省からの通知に基づき、制度改正事項や重点協力依頼事項を中心とした研修会を実施します。実施にあたっては、Web会議サービスを活用する等、年金委員が参加しやすいよう開催方法を工夫します。

## 地域型年金委員連絡会の実施

- 地域型年金委員連絡会を半期に1回開催し、組織的活動の活性化を図ります。なお、開催にあたっては委員同士の情報交換、好取組事例の共有を図るため、連絡会の集合形式開催を企画します。

## 地域型年金委員向け情報誌の発行

- 地域型年金委員が円滑に活動できるよう、年金に関する情報や地域型年金委員に協力をお願いしたい内容等をお知らせする情報誌「なごみ便り」を偶数月に発行します。発行にあたっては、年金委員活動のさらなる活性化のため、各県の取組紹介ページを掲載します。

## 制度周知への協力依頼

- 地域型年金委員：地域住民への制度周知のため、チラシ配布等を依頼します。委員の属性に応じた取組依頼（説明会の開催等）を検討します。
- 職域型年金委員：職場内での制度周知を依頼します。

## 年金委員の委嘱拡大に向けた取組

- 職域型年金委員：更なる委嘱拡大のため、年金委員未設置事業所（特に被保険者50名以上の事業所）へ推薦依頼文書を送付します。
- 地域型年金委員：幅広い職種の方に地域型年金委員を担っていただけるよう、関係機関・関係団体に対して委嘱に係る協力依頼を行います。

# 「ねんきん月間」および「年金の日」における取組

11月の「ねんきん月間」や11月30日の「年金の日」において、各年金事務所が創意工夫し、公的年金制度の普及・啓発活動を実施します。

## 年金委員功労者表彰式の開催

- ・ 顕著な功績が認められる年金委員への表彰状伝達式を開催します。

## 各年金事務所における公的年金制度の普及・啓発活動の実施

- ・ 年金事務所の取組はホームページに掲載されるため、当該取組が年金制度の普及・啓発活動に寄与できるよう企画・実行します。
- ・ 年金セミナーや年金制度説明会を実施し、併せて、ねんきんネットの利用促進を図ります。
- ・ 「こども絵画展」を実施し、「家族で年金を考えてみる（世代間の支えあい）」をテーマとして、幼稚園・保育園から小学生とその保護者を対象に年金セミナーの開催を企画します。
- ・ 全国各地で実施している好取組事例を参考に、新たな取組を企画します。なお、取組にあたっては、地域型年金委員にも協力依頼し、効果的・効率的な取組となるよう企画します。

## 「わたしと年金」エッセイの取組

- ・ 応募校数、件数の更なる増加を図るため、積極的な周知・広報を図ります。

# 地域年金事業運営調整会議

地域、教育、企業の中で公的年金制度に対する理解をより深め、世代・年齢、地域・職域を超えた社会連帯を図ることを目的に、有識者や関係機関、関係団体等の民間委員から構成される「地域年金事業運営調整会議」を開催し、地域に密着した公的年金制度の周知方法や納付率向上策等について意見交換を行います。

開催予定時期	令和7年8月および令和8年3月 ※3月は書面開催
主な議事（予定）	事業計画、事業実施結果の報告、事業における重点施策

なお、開催にあたっては、会議資料及び協議したいポイントを事前に会議員に送付し、会議の更なる活性化を図ります。

【協議したいポイント（例）】

- 外国人の適用、収納対策
- ねんきん月間の取組について
- 年金委員の活動活性化
- 年金セミナー、エッセイの周知・広報について

# 参考

## 年金セミナー対象校（開催日順）

第一自動車大学校、麻生工科自動車大学校、九州電気専門学校、八女筑後看護専門学校、麻生情報ビジネス専門学校、西南学院大学、昴自動車大学校、九州共立大学、東京国際ビジネスカレッジ、ベルエポック美容専門学校ブライダルヘアメイク科、国際アニメーション専門学校、明善高等学校（定時制）、誠修高等学校、福岡県立三池高等学校、筑紫女学園高等学校、福岡県立筑紫高等学校、北九州リハビリテーション学院、麻生公務員専門学校北九州校、福岡ベルエポック美容専門学校ヘアメイク科、福岡歯科衛生専門学校、北九州大学、大牟田高等学校、ありあけ新世高等学校、福岡日本語学校、久留米学園高等学校、昴自動車工科大学校、博多高等学校、麻生工科自動車大学校、福岡ベルエポック美容専門学校エステティシャン科、専門学校第一自動車大学校、西鉄国際ビジネスカレッジ、福岡医療経営学院、アジア日本語学院、日本国際語学アカデミー福岡校、敬愛高等学校、飯塚第一中学校、直方北小学校、九州国際大学付属高等学校

## 障害年金制度説明会対象校（開催日順）

福岡市立生の松原特別支援学校、福岡県立太宰府特別支援学校、久留米市立久留米特別支援学校、福岡県立川崎特別支援学校、福岡県立福岡特別支援学校、福岡市立特別支援学校「城浜高等学園」、福岡市立特別支援学校清水高等学園、福岡市立若久特別支援学校、福岡県立福岡視覚特別支援学校、小池特別支援学校、北九州高等学園、糸島特別支援学校、八幡特別支援学校、筑後特別支援学校

「わたしと年金」エッセイ応募校名	応募件数
福岡県立光陵高等学校	214
博多高等学校	129
S高等学校	1
福岡県立筑紫高等学校	374
福岡県立朝倉高等学校	3
福岡県立八女高等学校	233
福岡県立輝翔館中等教育学校	1
常磐高等学校	5
福岡県立小倉高等学校	3
福岡県立直方高等学校	133
福岡県立東鷹高等学校	114
福岡県立伝習館高等学校	6
大牟田高等学校	14
応募総数	1,230

